

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月16日(金)

事務事業		地域医療推進事業		担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	29212
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市補助金等の交付に関する規則、深谷市寄居医師会補助金交付要綱 大里郡市歯科医師会補助金交付要綱、深谷市骨髄ドナー支援事業助成金交付要綱			
	小項目	2	地域医療体制の充実						
	主要プロジェクト								
事業概要		本事業は、医師会及び歯科医師会に対する活動の補助、地域医療講演会及び小児救急法セミナーの開催、骨髄移植ドナーの支援等を実施することにより、地域医療の推進を図るものである。							
目的 ※何のために		地域医療の確保、市民の健康保持・増進を図る。							
対象 ※誰・何を対象に		深谷寄居医師会、深谷寄居歯科医師会、深谷市薬剤師会、深谷赤十字病院、熊谷保健所等、市民							
手段 ※どのように		団体補助金の交付、地域医療講演会の開催、骨髄移植ドナーの支援等を行う。							
成果 ※何を求めるか		市の保健事業の円滑な推進および地域医療の確保を図ることができる。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )							
事務事業を 構成する 予算事業	区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
	一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	地域医療推進事業	1,104,036
本事業の 主な業務	・医師会、深谷赤十字病院等との連絡調整					・地域医療講演会の開催			
	・救急医療体制等の地域医療に関する会議					・骨髄移植ドナー支援事業の実施			
	・保健所主催の各種連絡調整					・小児救急法セミナーの開催			
	・AED普及啓発					・宅配ボックス設置費補助金交付			
	・医師会補助金交付					・			
	・歯科医師会補助金交付					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・医師会、歯科医師会補助金・小児救急法セミナー・地域医療講演会、ドナー支援	・医師会、歯科医師会補助金・小児救急法セミナー・ドナー支援				
事業費	予算(現額)	2,098,000	1,105,000	1,079,000	2,579,000		
	決算額	1,830,741	1,104,036	0	0		
	財源内訳	国支出金	947,000	0	0	0	
		県支出金	0	140,000	70,000	70,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源	883,741	964,036	1,009,000	2,509,000		
人件費	従事職員数(人)	0.56	0.54	0.54	0.54		
	人件費相当試算※	4,346,672	4,249,561	4,426,049	4,426,049		
総事業費試算		6,177,413	5,353,597	5,505,049	7,005,049		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	地域医療推進事業メニュー数	目標値	事業	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	
		実績値		7.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			地域医療の推進を図るための事業数/地域医療推進事業数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	骨髄移植ドナー助成件数	目標値	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		実績値		2.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標値は平成29年度までの実績値で設定 / ドナー助成件数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	AED貸出件数	目標値	件	100.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	
		実績値		29.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			AED貸出の年間件数 ※過去の実績から10%の見込み / AED貸出件数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	小児救急法セミナー実施回数	目標値	回	6.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			小児救急法セミナー実施回数 ※平成30年度より / セミナー実施回数						
	実績値の算出式									
成果指標 4	地域医療講演会参加数	目標値	人							
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所			地域医療講演会における参加者数 / 講演会参加者数						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	地域医療を確保するため、救急電話相談やかかりつけ医制度の周知、AED貸出業務や骨髄移植ドナー助成事業などについて、広報やホームページを活用し情報発信を行った。また、医師会や歯科医師会補助金の交付事務も滞りなく遂行できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	AED貸出件数については、コロナ禍の状況等により関係団体の事業が中止となったことに伴い、コロナ前の例年に比べ大幅な貸出し減となった。なお、地域医療講演会については、長年にわたり医療に特化したテーマで開催してきたが、令和元年度をもって終了となったため、目標値・実績値ともに無しである。
			評価者 地域医療係長 渡邊忠道

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	広報やホームページを活用した情報発信を行う等、効率的に執行している。
			評価者 地域医療係長 渡邊忠道

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	地域医療推進事業	担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	29212
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		地域医療の推進は、市の保健事業の円滑な実施や医療体制の確保を目的としたものであり、医師会等と連絡調整が必要不可欠である。また、市民に対し地域医療に関する情報を発信し、周知していくことも重要であることから、今後も引き続き関係機関等との連携を密にしながら、地域医療の推進を図っていききたい。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保健センター所長 穂山光昌				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	引続き市民に対し地域医療に関する情報の周知・啓発をしていくとともに、地域医療の実施主体である深谷寄居医師会をはじめとする各医療機関や各関係機関等との連携を密にしながら、地域医療の推進を図っていく。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	地域医療の推進を目的とした効果的な事業を展開する。

8. 評価指標グラフ

